

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 セカンドスクールから考える武蔵野の魅力

3 単元の目標

武蔵野市民科
資質・能力

○知識・技能の習得	・自分たちの住む武蔵野と長野県安曇野の自然や産業を比較して、それぞれの街の特徴を理解する。 ・安曇野の方との触れ合いを通して、街の課題をどのように解決してきたかを理解する。	C1、C2
○思考力・判断力・表現力等の育成	・安曇野の街の課題を発見して、その解決方法を考える。 ・セカンドスクールでの学習を通して安曇野と武蔵野・安曇野の街の課題を発見しその解決方法を考える。	A2、B2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・セカンドスクールでの学習を通して、日常生活において武蔵野市民としてどのような心がけや他者との協力が必要なかを考える。 ・長期宿泊体験活動を通して、仲間と協力し合う態度を養う。	B3、C3

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	学習課題を設定するためのガイダンス	1	セカンドスクールの取り組みを始めるにあたってガイダンスを実施し、見通しを持って事前学習を取り組んでいくための意識づけを行う。	総合
	武蔵野と安曇野の特徴を調べて理解する。	6	セカンドスクールに向けた事前学習において、ICTを活用して安曇野の自然や産業などの特徴を調べて理解する。また武蔵野の自然や産業などの特徴も調べ、比較する。	総合、理科、社会 安曇野市資料
	調べた内容を発表し、情報を共有する。	3	安曇野と武蔵野の自然や産業などについて調べた情報を発表し、情報を共有する。	総合
	セカンドスクール本番へ向けての準備をする。	2	安曇野の自然や産業、歴史、名産品、食文化などについて、セカンドスクール本番で調査、体験するための計画を立てる。	総合、社会
小単元 ②	セカンドスクール本番において、安曇野市が街の課題をどのように解決してきたかを知る。仲間と協力して課題を解決する態度を養う。	6	セカンドスクール期間中に、宿舎の方や体験学習先の方との触れ合いを通して、安曇野市が街の課題をどのようにして解決してきたかを知る。セカンドスクールの体験を通して、仲間と協力して課題を解決する。	総合 社会 現地での体験学習 (安曇野ウォークラリーなど)
	安曇野市の街の課題を発見してその解決方法を考える。	3	セカンドスクールを振り返って、安曇野市の街の課題を確認し、班やクラスで協力してその解決方法を考える。	総合
	武蔵野市民として、自分たちの住んでいる街の課題を解決するために、どのような心がけや他者との協力が望ましいかを考える。	4	安曇野市での課題解決を参考に、武蔵野市民として、自分たちの住む街の課題を解決するために、どのような心がけや他者との協力が望ましいかを考える。	総合
	武蔵野市をよりよい地域・社会にするためにどうしたらいいかを考え、まとめて発表する。	10	セカンドスクール本番や事後学習で考え、まとめたことを発表する。	総合 学習発表会
小単元 ③				

合計時数 35 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 職場体験から考える将来の自分

3 単元の目標

武蔵野市民科
資質・能力

○知識・技能の習得	・実際の体験や事前学習等とおして、自身の適性や心構え、マナーなどの理解を深める。 ・実社会で様々な人と触れ合うことを通して社会性を身につける。	A1、C3
○思考力・判断力・表現力等の育成	事前学習や体験先での共同作業等とおして、働くことの意義や、仕事が人々の生活にどのように役立っているか、チームワークの重要性を考え、ポスターセッションをおして他学年に伝えていく。	A2、B4
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・体験等とおして、自身の人生設計をデザインしようとする姿勢や望ましい勤労観・職業観を養う。	A4、B3

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	学習課題を設定するためのガイダンス	1	職場体験の取り組みを始めるにあたってガイダンスを実施し、見通しを持って事前学習を取り組んでいくための意識づけを行う。	総合
	職場体験先の決定	2	働くことの意義や心構えを考え、自身の適性や将来設計を基に職場体験先の希望を考える。調整の上、事業所を決定する。	総合
	電話がけ・事前訪問	4	電話のかけ方を学習し、実際に事業所に電話をかけて、挨拶と事前訪問の日時を決める。事前訪問でどんなことを聞いたらいいかをメンバーで話し合う。事前訪問のマナーと事業所への行き方を地図で確認する。	総合、国語、社会
	職場体験マナー講習会 セカンドスクール本番へ向けての準備をする。	4	お世話になる事業所のことを各自で調べてしおりに記入する。事前訪問で聞いた情報を班員で共有する。職場体験当日に事業所の方に質問する内容を考える。職場体験でのマナーを学ぶ。	総合 地域の教育力の活用
小単元 ②	実際に職場体験を行い、働くことの意義や一人一人の役割等を考える。	18	職場体験当日、体験の中で感じたことや個々の役割にどのようなものがあつたか、働くことの意義などをしおりに記録として残す。	総合、社会
	職場体験で学んだことをPCや模造紙等にまとめる。	6	職場体験で学んだことを、事業所ごとにまとめる。仲間と協力し合い、情報の整理する方向を学ぶ。	総合
	ポスターセッション形式で発表会を行う。発表することとおして、表現力を高める。	6	クラス発表会、学年発表会、学習発表会（学年代表2班が発表）を行い、全校生徒や保護者の方、地域の方に職場体験の取り組みを通して学んだことを発表する。地域の方の協力を得て発信の方法を考える。（武蔵野活性化委員会「いいさかい」等）	総合、特別活動
	まとめ	1	発表会での仲間の発表を聞いて学んだことを各自でワークシートにまとめる。職業についての意義について改めて考える。	総合
小単元 ③				

合計時数 42 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 日本の伝統文化と武蔵野の魅力を理解する。
社会参画への意識を高める。

3 単元の目標

武蔵野市民科
資質・能力

○知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の学習を通して日本の伝統文化の知識を深めるとともに、1年次に学習した武蔵野の魅力について改めて見つけ直す。 ・卒業研究を通して将来主権者として前向きに活動することができる力を身につける。 	C1、A5
○思考力・判断力・表現力等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・京都、奈良についてICT機器を活用して情報を集める。 ・自分の興味、関心に沿ったテーマを選び、調べ、考えて、意見を表現する力を身につける。 	A2、B2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行での事前事後学習や、武蔵野の魅力発信の取り組みを通して、一市民としてできることを皆で考え、できることから考えようとする態度を養う。 ・よりよい世界を築くために、積極的に社会参画しようとする態度を養う。 	B3、C3

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	学習課題を設定するためのガイダンス	1	修学旅行の取り組みを始めるにあたってガイダンスを実施し、見通しを持って事前学習を取り組んでいくための意識づけを行う。	総合
	ICT機器などを活用し、情報を集める。	5	奈良、京都における伝統文化を調べ、伝統文化の継承のための街づくりの取り組みの情報を集める	総合、社会
	ICT機器などを活用し、情報を共有する。	3	奈良、京都における伝統文化について調べた情報を発表し、情報を共有する。	総合、社会
	修学旅行本番へ向けての準備をする。	2	奈良・京都の歴史、建築、伝統工芸品、宗教、食文化などについて、現地で調査、体験するための計画を立てる。	総合、社会
	現地において直接、歴史的建造物や伝統文化などに触れて、理解を深める。	12	事前に調べた内容を、現地でさらに追求する。伝統文化の継承のための街づくりの取り組みなどについて、現地で調査を行う。武蔵野との違いを学び、武蔵野の魅力を再発見する。	総合、社会
小単元 ②	学習課題を設定するためのガイダンス	1	修学旅行の取り組みを始めるにあたってガイダンスを実施し、見通しを持って事前学習を取り組んでいくための意識づけを行う。	総合
	卒業研究のテーマ決め	3	自分の興味、関心に沿ったテーマを設定する。	総合
	ICT機器などを活用して、卒業研究の調べ学習を行い、まとめる。	10	テーマに沿ってタブレットPCや資料をもとに調べ、まとめ、卒業研究レポートを作成する。	総合
	クラス・学年での発表	5	発表の方法を工夫し、クラス・学年で卒業研究発表会を行う。仲間の発表を聞いて、新たな発見を確認する。	総合
	学習発表会	2	3月の学習発表会において、学年代表班が全校生徒や保護者、地域の方々の前で発表を行う。仲間の発表を聞いて、新たな発見を確認する。	総合・特別活動
小単元 ③				

合計時数 44 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題